

桜の名所”吉野山”の魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- ・桜樹林の老齢化に伴い、枯れ木・枯れ枝が散見される。
- ・大きく茂った樹冠部が、登山道等の視点場からの眺望を阻害している。

課題解決
への
主な対応

- ・人工林の伐採、桜類育成環境の健全化
- ・支障木伐採・剪定等の視点場の環境整備
- ・植物の剪定等の恒常的な適正管理

【今後の連携方策】 地域団体や寺社等との協働による桜樹林景観の保全。

◆エリアの特徴的な景観



下千本の眺望

□吉野山周辺

- 長期** 道路の無電柱化や遊歩道の補修を行い、景観の向上を図ることが望ましい

現況写真

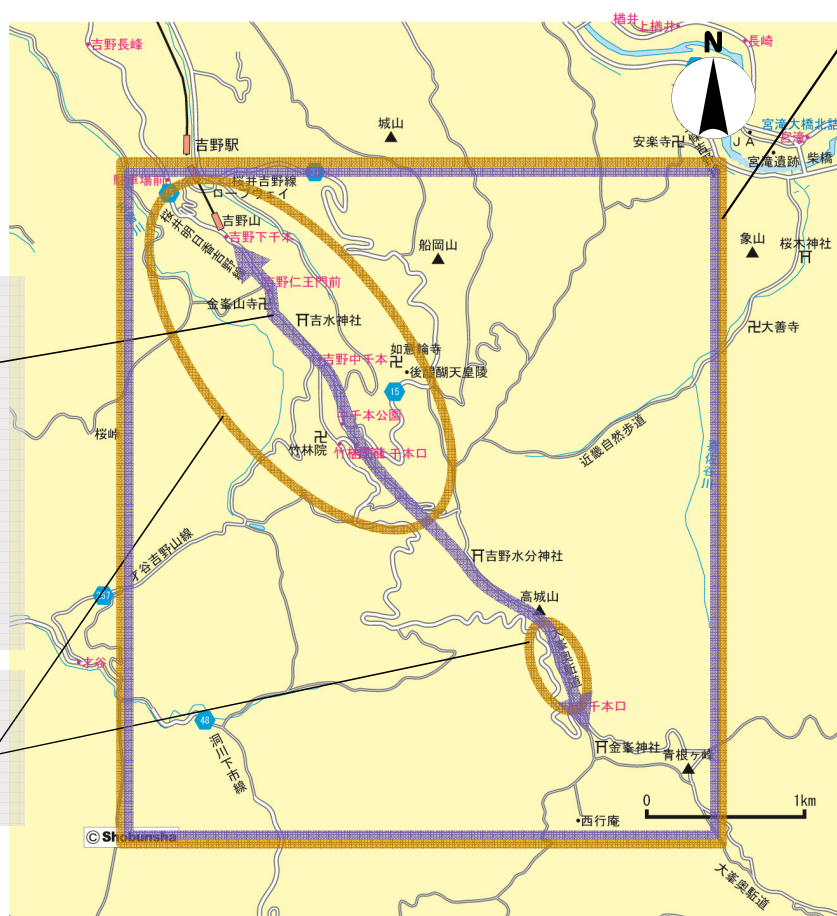


現況写真



□人工林エリア・広葉樹エリア

- 長期** 人工林の伐採およびシロヤマザクラの生育環境にあった箇所での桜の植樹を行い、彩りのある景観づくりを図る



□吉野山周辺

イメージ図

- 長期** 枯れ木、枯れ枝の除去および桜育成環境の健全化整備を行い、彩りのある景観づくりを図る

現況写真



イメージ図



イメージ図



イメージ図



- 長期** 桜の名所としての魅力を高めるため桜の植栽エリアを拡大する

- 短期** 樹木の伐採・頂端部の除去を行うことで、眺望の確保と景観の魅力向上を図る